



冬季パシフィックセミナー



“節談説教”

浄土真宗における節付説教と語りもの

講師

マーク・ブラム博士



マーク・ブラム氏は、仏教研究教授であり、カリフォルニア大学バークレー校の東洋言語文化学科、日本語専攻教授で伊藤真乗の権威者として著名である。『浄土教の起源と発展』(2002), 『蓮如と現代日本仏教のルーツ』(2006), 『精神主義：親鸞思想の現代的理解』(2011), その他、多くの著書がある。現在の研究テーマは、『仏を憶念、仏を称名：念仏想・行・文化の歴史』である。

南加教区開教使による法話リレー

参加費: \$40 (昼食込み)

申込締切日: 2020年1月11日

お申込・お支払いは、は各所属寺院で。

お問い合わせは、高田 興芳 開教使
(ロサンゼルス別院)、下記連絡先まで。

NishiDharmaCenter@gmail.com

電話: (213) 680-9130

日本では浄土真宗の僧侶がしばしば浪曲、講談、物語の語り手など話芸の母体となった節談説教という形で御法儀をお取次ぎされる。マーク・ブラム氏は、最近、日本芸能で人気を得ている落語のような節付説教について、その布教手段やスタイルを紹介されます。

2020年1月25日(土)

午前9時半 - 午後3時半

(開場 午前9時)

ロサンゼルス別院
(西本願寺)

815 E. First Street
Los Angeles, CA 90012

主催: 米国仏教大学院、米国仏教団仏教教育部

協賛: 米国仏教団南加教区開教使会、米国仏教団南加教区仏教教育部